

データ入稿ガイド

Illustrator 編



①よくあるデータ不備

②おもわぬトラブルの原因

③入稿時のお願い

地域に貢献する印刷

株式会社 **光洋印刷**

KOYO Printing Co., Ltd

①よくあるデータ不備

Illustrator 編

■データに裁ち落としはございますか？

紙のフチまで印刷したい場合は「塗り足し」が必要です。

裁ち落とし：なし



裁ち落とし：あり



(紙のフチまで色が入っていること)

裁ち落としがある場合は必ず、
裁ち落とされる部分に
**3mm以上の塗り足しを
作成してください**

例えば…

A4サイズ(210×297mm)の塗り足し



216×303mmサイズで作成する!

×悪い例

データが、希望するサイズぴったりに作られている

- 塗り足しがないと、断裁したときに印刷されていない白い部分が紙のフチにでてしまう



○良い例

データが、希望するサイズより上下左右 3mm 以上大きく作られている

- 塗り足しがあると紙のフチに白がでず、仕上がりがキレイになる。



■カラーは CMYK で作成されていますか？

印刷は CMYK カラーで行います。RGB カラーでは印刷できません。

RGB カラー



CMYK カラー (印刷で使用する色)



データのカラーは CMYK カラーのものを入稿してください

※印刷で使用するカラーは CMYK です。RGB カラーで入稿された場合、弊社にて CMYK カラーに自動的に変換いたしますが、**PC のモニター上で見た色と印刷後の色に差が出て、仕上がりがくすんでしまいます。**
(RGB と CMYK とでは色の領域が異なるため、印刷では同じ色味に再現することができません)

※**RGB データで作成されている場合、弊社で CMYK に変換いたします。**
(色味が変わる場合があります)

■使われている写真や画像の解像度は適正ですか？

写真や画像の解像度が低いと、見映えが悪くなります。

×悪い例

解像度が低い
粗い画像

- 印刷した場合ぼやけたり、カクカクした粗い仕上がりになります。



○良い例

解像度が高い
きれいな画像

- 印刷した場合くっきりとしたキレイな仕上がりになります。



画像の解像度は高いものを使用してください(推奨 300~350dpi)

※インターネット上の画像や、携帯のカメラで撮影した写真は解像度が低い可能性があります。また、解像度が高い画像でも、ワードやエクセルなどのデータに埋め込んだり、SNS ツールやアプリなどを経由して画像を受け渡ししても、自動で圧縮されて解像度が下がる可能性があります。

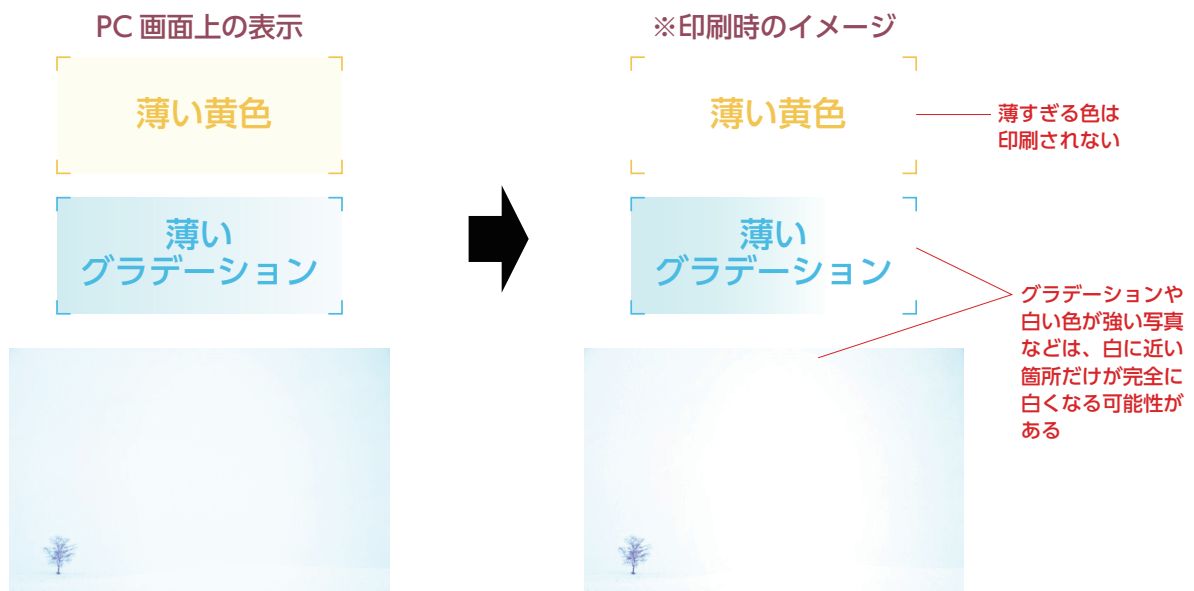


←画像が複数並んだ場合、1枚だけが低解像度だったりすると、気づかない場合があります。ご注意ください。

■薄い色（限りなく白に近い色）を使用していますか？

あまりにも薄い色は印刷することができません。

濃度がとても薄い色は、PCの画面上では見えていても印刷した時には見えなくなってしまう。



■文字が紙の端ギリギリに入っていないですか？

文字やオブジェクトが紙の端にあると、仕上がり時に切れてしまう場合があります。



とっても甘くてみずみずしい!
山形県産の美味しい西瓜を
みなさまのもとへお届けします!

山形のすいか

濃厚な甘さに
シャリシャリ食感がたまらない!

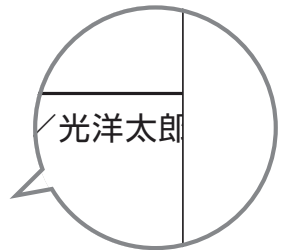
- 小玉すいか 約2kg 1,480円(税込)
- 大玉すいかLサイズ 約6kg 2,980円(税込)
- 大玉すいかSLサイズ 約10kg 4,280円(税込)

7月上旬頃より出荷予定です。
※悪天候等で収穫量・収穫時期に影響が出た場合、発送が遅れる可能性があります。
※配達料は別料金となります。
※フックス注文の時は別紙に住所・氏名・電話番号・注文番号を記入して下さい。

光洋園
山形県村山市温泉町3丁目12-25-1 代表/光洋太郎
TEL・FAX 0000-00-0000
携帯電話 000-0000-0000

印刷範囲の端ギリギリに配置されている文字やオブジェクトは断裁時のわずかなズレで、**欠けた状態で仕上がりしてしまう**場合があります。

切れてはいけない文字やオブジェクトは、紙の端から3mm以上内側に配置して作成してください

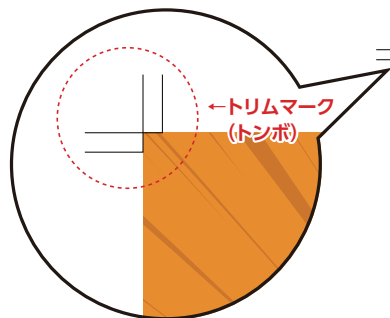


■トリムマーク（トンボ）は必ず付けてください

注文サイズにあわせたトリムマーク（トンボ）を、作成してください。

トリムマークがないと**断裁位置を決めることが出来ません。**

製品として完成させることができないため、データを修正した上で再入稿して頂く必要があります。



トリムマークの役割

トリムマークは印刷・断裁時の位置合わせ用の目印です。
内トンボは仕上がり線、外トンボは塗り足し範囲を示しています。

3mm 外トンボ 内トンボ 塗り足し

3mm 内トンボ

ここを基準に切ります

大感謝セール

な、なんと今だけ
全品30%OFF

■使われている写真や画像のデータも一緒にご入稿ください。

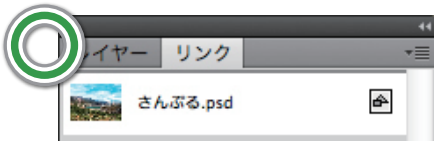
使用されている画像や写真をご入稿されていない場合、印刷することができません。

リンクで配置した画像は元の画像ファイルも全てご入稿ください。
もしくは全てデータに埋め込んでください。

リンク画像が揃っていないと、こちらでデータを開いた際に画像部分を表示することができません。
その場合、印刷作業に進むことができませんのでデータを再入稿していただく必要があります。



正しくリンクされている場合、左記のようにマークは表示されません。
リンク名と同名の画像を一緒にご入稿ください。



マークが表示されている場合は、画像が Illustrator ファイルに正しく埋め込まれています。
(Illustrator ファイル内にまとめて保存されています)
この場合、同名の画像はご入稿いただく必要がありません。



マークが表示されている場合は、リンク元になっている画像が変更されています。必ずリンクを更新してください。
(作業途中で元画像を修正・更新したりするとこの状態になる場合があります)



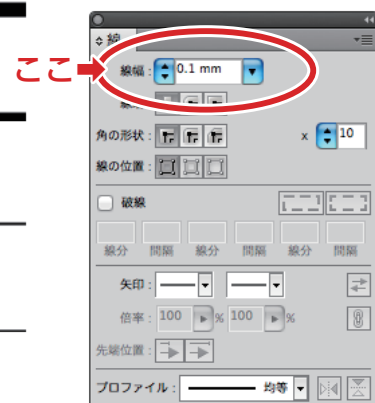
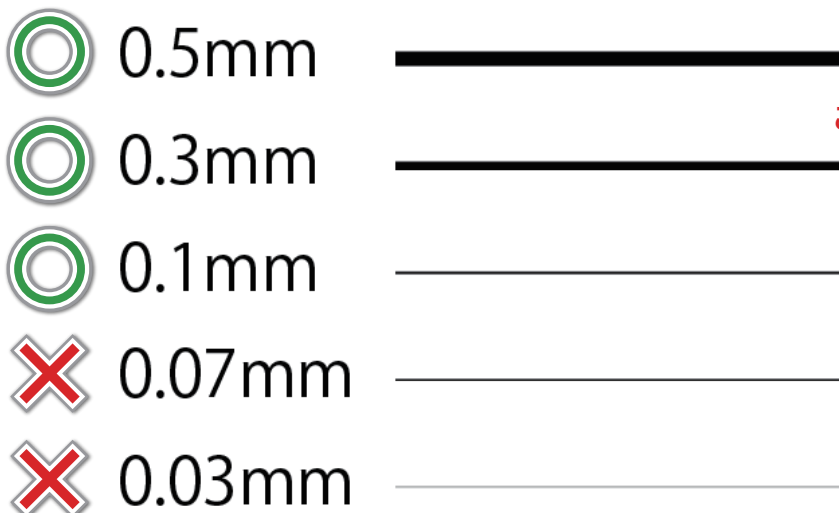
マークが表示されている場合は、リンク画像を正しく読み込んでいません。画像を再配置、再リンクさせて正しい状態にしてください。
(元画像を別のフォルダへ移動・削除したり、名称を変更するとこの状態になる場合があります)

■使われている線の幅は細くなりすぎていませんか？

線の幅が細すぎると印刷に反映されない場合があります。

線幅は必ず**0.1mm (0.3pt)**以上で作成してください。

※これより細かい線幅は、細すぎてかすれてしまったり、消えてしまう場合があります。



■線が「塗り」だけで作られてはいませんか？

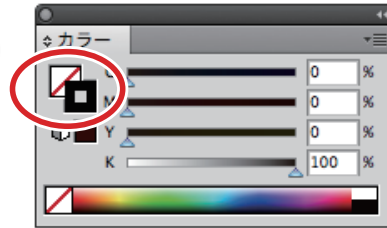
パスデータに「塗り」が入っていると「画面上では線」に見えてしまいます。

線に色を付ける際は必ず

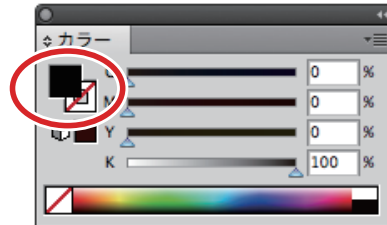
カラーパレットの「線設定」で色を付けてください。

※「塗り設定」で色を付けると画面上では細い線がみえますが、実際には印刷されない場合があります。（この線を「ヘアライン」と呼びます）

「線設定」0.1mmの
しっかりとした線。



線のように見えるが「塗り」に色が入って
線のように見えるだけ。
印刷にはしっかり反映されない。

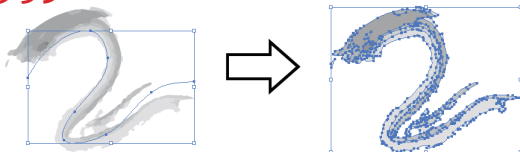


■ブラシや効果は使っていますか？

ブラシや効果は、そのままの状態だと印刷不良の原因になります。

アピアランス (効果) は**全て分割**してください。

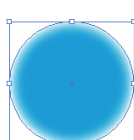
ブラシ



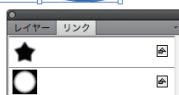
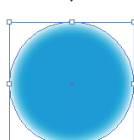
ドロップシャドウ



ぼかし



ワープ：旗



特殊なブラシを使用していたり、ドロップシャドウやぼかし、ワープなどの Illustrator 効果・Photoshop 効果による変形・加工は必ず「アピアランスを分割」してください。

これらの効果は、お客様のイラストレータと弊社のイラストレータで環境が異なった場合、正常に表現されない場合がございます。

また、分割されたアピアランスは元に戻すことが出来なくなるため、分割した後は別名で保存をして、手元にアウトライン化前のデータを保管されることをお薦め致します。

←「ぼかし」や「ドロップシャドウ」はアピアランスを分割すると、「リンク」に画像として生成されます。（「ぼかし」は、透明効果のマスクデータになります）

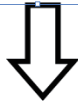
■フォントはアウトライン化されていますか？

お客様が使用されているフォントが弊社に無い場合があります。

フォントは全てアウトライン化してください。

使用されているフォントは全て「アウトライン化」して「別名で保存」してください。

光洋印刷



アウトライン化

光洋印刷

お客様が使用されているフォントが弊社に無い場合があります。その場合、正しいデータとして印刷をすることが出来ないため、印刷作業へ進むことが出来ません。必ず「全てのフォントをアウトライン化」したデータで入稿してください。

※フォントにアピアランス（効果）やグラデーションを使用している場合、「アピアランスを分割」「テキストのアウトライン化」の順番によっては、処理をする前と見え方が異なってしまう場合があります。処理を行った後は、デザインが変わってしまっていないかしっかり確認することをお薦め致します。

また、一度アウトライン化したフォントは元に戻すことができません。

アウトライン化した場合は別名で保存をして、手元のアウトライン化前のデータを保管されることを推奨します。

■印刷に必要な無いレイヤーは入っていませんか？

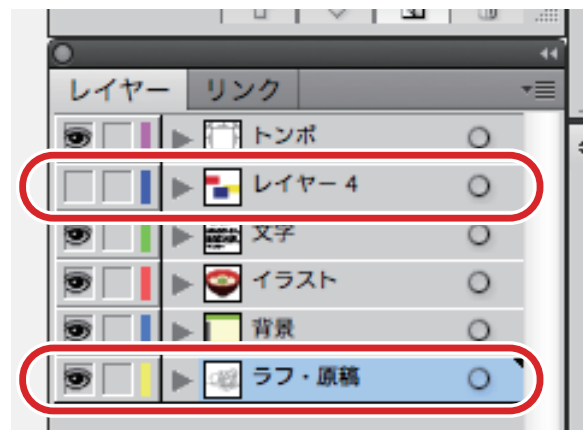
印刷に必要な無いレイヤーがあると印刷間違いの原因になります。

必要な無いレイヤーは削除してください。

見えないレイヤーや不必要なレイヤーは全て削除してください。

不可視設定がされているレイヤーや、印刷に必要な無いデータが入った必要な無いレイヤーは削除して入稿してください。（印刷間違いの原因になります）

見えない設定（不可視設定）がされているレイヤー →



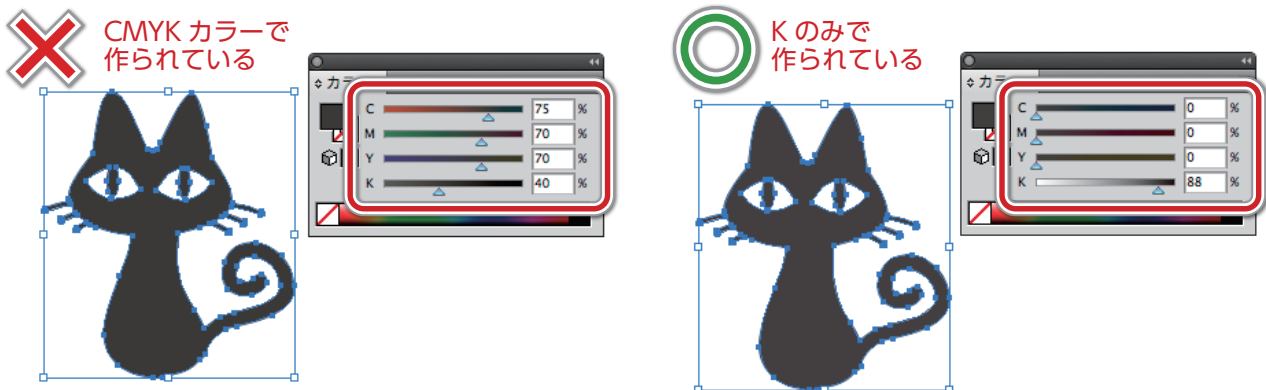
印刷には必要ないデータが入ったレイヤー →

■モノクロ印刷用のデータにカラーのデータは入っていませんか？

1色に見えるものでも、カラーで作られている場合があります。

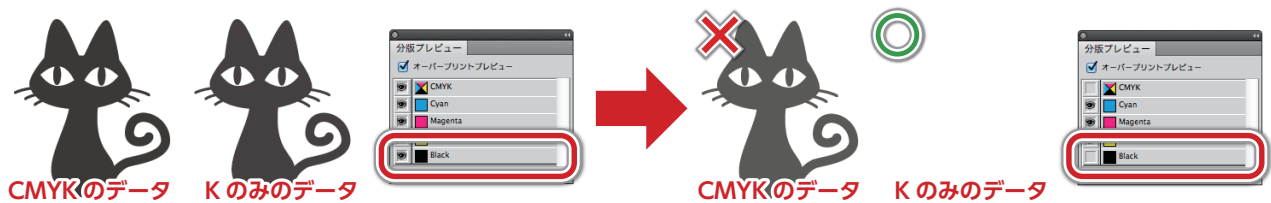
モノクロ(1色)印刷の場合は、カラーをK(黒)のみで作成してください。

黒一色で作られたように見えるオブジェクトも、カラーで作られている場合があります。



CMY カラーが入ったオブジェクトを弊社で K のみのカラーに変換すると、色味が変化してしまいます。データに K 以外のカラーが入っていないか確認してください。

※オーバープリントプレビュー（分版プレビュー）で「Black」のチェックを外してもオブジェクトが消えない場合、K 以外のカラーが入っている可能性があります。



②おもわぬトラブルの原因

Illustrator 編

■入稿データのサイズと希望する製品のサイズは合っていますか？

希望する製品サイズは B2(728×515 mm) ですが、入稿していただいたデータのサイズが A4(297×210 mm) というようなケースがあります。

このような場合、入稿していただいた A4 のデータを引き延ばして B2 サイズにしますが、画像データなどが入っていると、引き延ばされた影響で画像部分は全て粗くなってしまいます。また、サイズの比率が違ったり、(縦に長い製品を作りたいのに、横に長いデータを入稿された等) 画像部分があまりにも粗くなってしまう場合は、データの再入稿をしていただく場合があります。

■ドキュメントのラスターライズ効果

ラスターライズ効果の解像度が低いと、ドロップシャドウやぼかしなどの効果が粗い状態で印刷されてしまいます！ドキュメントのラスターライズ効果設定をご確認ください！

- 上部メニューの「効果」→「ドキュメントのラスターライズ効果設定」→項目内の【カラーモード】を「CMYK」に、【解像度】を「300ppi」、もしくは「その他」にチェックを入れて「350ppi」以上に設定してください。

※バージョンが古い Illustrator を使用している場合、初期設定の段階で解像度が低い設定になっている可能性があります。

■複雑なデータはラスターライズ化を

ラスターライズ化とは、オブジェクトや画像を統合して一枚の画像にする処理のことです。

複雑なオブジェクトを重ねて配置していたり、オブジェクトに対して複数の効果を使用していたりすると、データが重くなってしまったり、印刷用にデータを変換する際に演算に失敗してトラブルの原因になってしまう場合があります。あまりにも複雑なデータはラスターライズ化をお願いいたします。

- ラスターライズ化したいオブジェクトを全て選択後、上部メニューの「オブジェクト」→「ラスターライズ ...」→項目内の【カラーモード】を「CMYK」に、【解像度】を「300ppi」、もしくは「その他」にチェックを入れて「350ppi」以上に設定してください。【背景】は「透明」に設定してください。

※ラスターライズ化したオブジェクトは元に戻すことができません。ラスターライズ化したデータは別名で保存をして、ラスターライズ化する前のデータを残しておくことを推奨します。

■オーバープリントに注意

オーバープリントとは、色に色を重ねて印刷する設定のことです。

オブジェクトの『属性』にある「塗りにオーバープリント」「線にオーバープリント」にチェックを入れている場合、重なっているオブジェクト同士の色が混ざってしまい、予期せぬ仕上がりになってしまいます。

●「表示」→「オーバープリントプレビュー」で確認すると、オーバープリントのかかっている箇所の色が変化します。意図していない色味に変化している場合、オーバープリント設定になっている可能性が高いです。

※『白いオブジェクト』にオーバープリントがかかっている場合、印刷されない（＝インクを塗らない）という処理になるので、白く仕上げたかった箇所が消えてしまいます。入稿前に一度ご確認をお願いいたします。

③入稿時のお願い

Illustrator 編

■データの入稿時に、確認用として出カイメージが分かるPDF や Jpg、スクリーンショットも添付してください

入稿いただいたデータが正しく開けているか、確認用のデータが必要です。

お客様がご入稿いただいたデータを正しく印刷するため、弊社で正しい状態で開けているかどうかを確認するために、出カイメージが分かるようなPDF や Jpg、またはスクリーンショットも一緒にご入稿ください。なお、見出しや写真など、目立つ箇所のデータに差異はないか確認させていただきますが、文章などの細かな内容などは確認いたしませんので、ご了承ください。(誤字脱字や文章表現の間違い等は、入稿前にお客様自身でご確認をお願い致します。)

全体が見えるスクリーンショット もしくは 出力用のデータと同じ内容のjpgやPDF



※確認用のデータは入稿するデータとは異なる形式でデータをご用意ください。

入稿用のデータが…

- PDFの場合⇒jpgもしくはスクリーンショット
- jpgの場合⇒スクリーンショット



出力用入稿用データ.○○(拡張子)



確認用データ.○○(拡張子)

■チラシ等の両面印刷するものは、おもて・うらのデータを分けて個別のファイルで入稿してください。

入稿いただいたデータを正しく両面印刷するためにおもて・うらを分けてください。

チラシやリーフレットなど、1枚の製品で両面を印刷する場合は、おもて・うらのデータを分けて作成してください。また、データがどちらの面であるか分かるように、必ずデータ名に「おもて」「うら」を明記してください。入稿時は、それらのデータを一つに圧縮して(zipファイル等)入稿してください。

×悪い例

1つの入稿用データに両面のデータがまとめて入っている

1ページ目

2ページ目

おもての
データ

うらの
データ



入稿用データ.○○(拡張子)

○良い例

おもて、うらのデータを分けて入稿し、ファイル名に「おもて」「うら」を入れている

おもての
データ

うらの
データ



入稿データおもて.○○



入稿データうら.○○

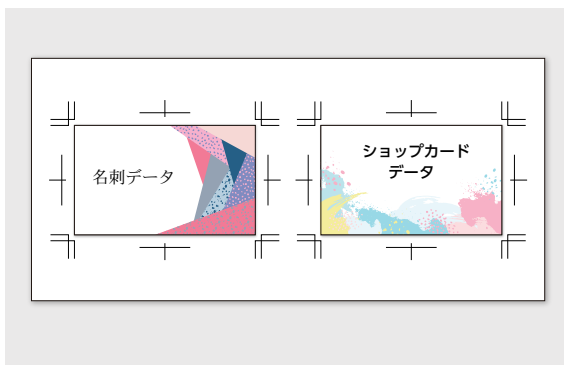
■1つのアートボードに2つ以上の出力用データは置かないでください。

2つ以上の出力データを入稿する場合、データごとにファイルを分けてください。

2つ以上の出力データを入稿いただく場合、(おもて・うらのデータや、複数の小さなデータなど)データごとにファイルを分けて入稿してください。

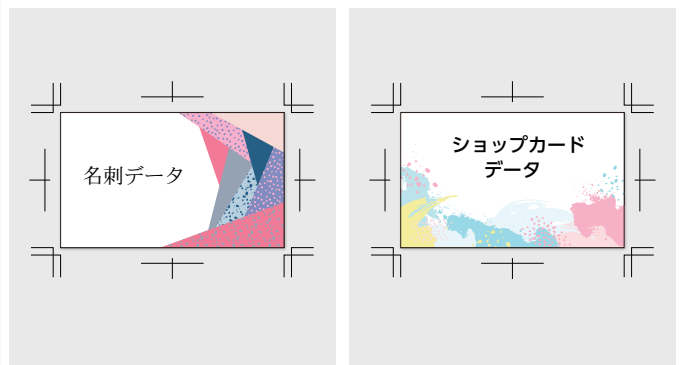
1つのアートボードにまとめた状態でご入稿いただくと、印刷間違いの原因になってしまいます。細かいデータでも出力したい製品ごとにファイルを分けてご入稿ください。

×悪い例 1つのアートボードに複数の出力用データがある



名刺とショップカードのデータ.ai

○良い例 出力用データ毎にそれぞれデータを分けている



名刺データ.ai



ショップカードデータ.ai

■おもて・うらで印刷の向きが異なる仕様の場合は、両面それぞれに「天地（上下左右）」の向きが分かるようにしてください。

おもて・うらで印刷の向きが異なる場合、「天地」の指示が無いと印刷作業に進むことができません。

はがき・ポストカードや名刺など、おもて面の印刷とうら面の印刷で向きが異なる場合、それぞれの面に正しい「天地」の指示が必要です。

入稿時に分かるよう、印刷範囲の外に指示を明記したり、天地の向きを書き込んだスクリーンショットや PDF などと一緒にご入稿ください。



■折りをしたい場合や、ミシン線を入れたい場合は印刷したい範囲の外に正しい箇所が分かるよう明記してください。

印刷したい範囲の中に明記すると、そのまま印刷されてしまうので、印刷範囲の外側に明記してください。

二つ折り・三つ折りをしたり、ミシン線を入れたい場合は、必ず印刷範囲の外側に、入れたい箇所が分かるように正しくはっきりと指示を入れてください。

